

コルザ

コルザはフランス語で「菜の花」

2017
5 月号
No. 382



目次

特集

こども食堂 2・3

ミニ特集

仲間づくり 4

こんにちは！赤ちゃん♪せっけん 5

第41回通常総代会傍聴のご案内 6

活動ファイル 6・7

フードバンク

エンディングサポート

きちんと和風だし

『太陽の蓋』上映会

福島問題を考えるフォーラム

ブロック活動ファイル 8・9

デポーおたかの森への期待

40周年 同窓会

デポカフェ再開です♪

UCC 発♪おいしいコーヒー

オリーブオイルを堪能！

企画に参加してリフレッシュ！

千葉グループ お知らせ 10・13

生活クラブ風の村 NPO クラブ

VAIC-CCI UWN ちば

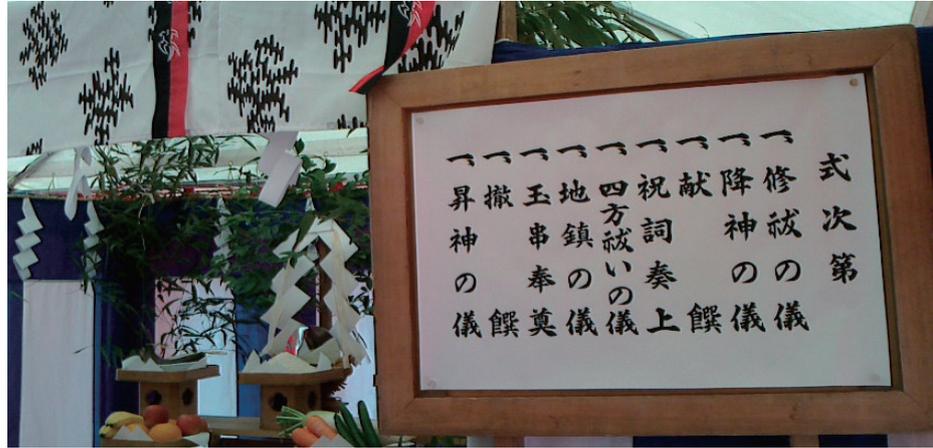
はぐくみの杜を支える会

せっけんの街 W.Co

イベント・情報 14

クラちゃんラブちゃん / 申込書 15

5月のデポー 16



4月11日 デポーおたかの森の地鎮祭が行われた

組合員の皆さんに3月理事会の報告をします。

1. 生活クラブ虹の街こども食堂基金より運営助成として19団体に926,000円を助成します。基金の残額503,540円は3ヵ月ごとに募集する立上げ・運営助成に活用します。

2. 生活クラブ虹の街と生活クラブ風の村による合同農園(仮称)虹と風ファームを立ち上げ、組合員の参加と風の村との連携による

2月の組織報告 総供給高 625,912,969円

総組合員数 40,363人(班5,386人 個別19,801人 デポー10,682人 経済共済4,494人)

り新たな農業モデル福祉農園事業農業の確立をめざします。プロジェクトを設置し、参加主体の形成、共同購入、生産体制、ソーラーシェアリングの設置に向けて検討します。

3. 2017年度のフードドライブは9月と1月に実施し、フードバンクちばと県内生協との連携で食品ロスや貧困の問題を多くの市民に知ってもらうキャンペーンを9月に実施します。

発行 / 生活クラブ虹の街 発行責任者 / 木村庸子 編集 / 組織部

虹の街 Facebook はこちらから→

〒261-0011 千葉市美浜区真砂5-21-12 tel 043-278-7671 fax 043-279-7490 <http://chiba.seikatsuclub.coop/>

★本紙は古紙再生紙、ベジタブルインキを使用。



本部 043・278・7671/センター柏 04・7134・3801/センター千葉 043・278・7629/センター佐倉 043・461・7868/
センター松戸 047・385・4646/センター市原 0436・60・1583/センターベイ 047・379・1540/デポー真砂 043・278・0112/
デポーみつわ台 043・287・2414/デポー新松戸 047・348・1210/デポー大津ヶ丘 04・7191・7359/
デポー松葉町 04・7134・0697/デポー浦安 047・353・0135/デポー木刈 0476・40・6811/デポー園生 043・290・0090/

こども食堂

生活クラブ虹の街では、地域こども食堂運営支援をすすめています。こども食堂は、こどもがひとりで行くことができる食堂。おおぜいであたたかい食事を囲むことで、地域の皆さんと顔見知りになり、ちょっとしたことを相談できる、そんな場を地域にたくさんつくりたいと思っています。

ただ食事を提供する場所ではなく

お金がなく、
満足な食事ができない

家族の帰りが遅く、
ひとりで食事

子どもが多く、ゆっくり
食事ができない



食生活の改善
生活習慣を学ぶ
居場所を見つける
頼れる大人と出会う
適切な支援につなぐ

だれが来てもいい…必要な人には適切な支援

地域みんなで
「ワイワイガヤガヤ」
のなかから・・・

気づきの目を
増やす

はなしを聞く
相談にのる
情報を伝える
支援窓口につなぐ



虹の街では、2016年から「こども食堂」支援に着手し、地域に住む子どもに無料ないしは安価で食事を提供するこども食堂の設立や運営をサポートする助成事業に取り組んでいます。

福祉委員会委員長の山本百合さんに話を聞きました。

こども食堂基金

「昨年9月、全組合員にこども食堂支援のお知らせとこども食堂の主催者や協力者に『こども食堂のおてつだいアンケート』を配布しました」

結果、回収113枚のうち、立上げ希望が4、支援希望6、手伝い希望72、食材・物品提供希望21、その他7、寄付希望が33人。

「10月理事会に、具体的支援活動として基金の設置とデポーからの食材提供実験について提案し、承認されました」

デポーの食材提供は、12月から実験が稼動し、3月に総括、6月から全

8デポーで取り組みが始まります。

こども食堂基金助成団体決定

「1月に寄付募集を行い、組合員1,004人の皆さんから1,429,540円*が集まりました。これを原資に各ブロックを通じて助成団体を募集し、19団体から926,000円の助成申請がありました」と山本さん。

手続きとしては、ブロックで、各こども食堂と連絡をとり、推薦書を作成し全団体が2月のブロック運営委員会で承認されました。ブロックから提出された申請書と推薦書を元に、3月福祉委員会で審査会を行い、19団体に対し、926,000円の助成を決定、3月度定例理事会で承認されました。

基金の助成対象は、立上げ・運営と運営の2種類があります。第1回は運営のみの応募でした。次回からは、立上げ・運営助成が対象となり、寄付の残金は、12月まで3カ月ごとに募集を行い活用されます。

「この間のアンケートなどで、仕事や高齢で直接運営参加はできないけれど、地域のこども食堂を応援したいという声を多く耳にしました。こども基金の設置により、おおぜいの組合員の応援する力を集め、こども食堂の活性化に繋げていきたいです」

それぞれのこども食堂は、運営を継続することで課題が見えてくる可能性があります。

基金による助成金や応援する力は生協の優位性をいかした支援として、子育ての社会化を具体化することに繋がります。

問合わせ：福祉・たすけあい事業部
tel : 043-278-7768



←こども食堂基金の応募など、詳細はQRコードから虹の街Hpでご覧いただけます。

*コルザ4月号(活動ファイル)では、「1002人から1,426,040円」と報告しましたが、上記(本文)に訂正させていただきます。

特集



稲毛こども食堂「といろ」

こども達はもちろん、未満時（0～2）さんがいらっしゃるママのご来店もお待ちしています。幅広い年齢層が参加しているので、わいわいガヤガヤにぎやかです。みんなもりもり食べて、遊んでね。調理メインでなく、会場設営や、子どもを見守っていただける方、ご連絡ください。

場所：生活クラブ稲毛ビレッジ 地域交流スペース虹

日時：毎月第2土曜 11：00～14：00

参加費：全員 300円

問合わせ：043-207-7070

子ども食堂流山から風流

4月6日の子ども食堂のようす。「昨年4月から子ども食堂をスタートしました。ちょうど、1周年ですが無我夢中でやってきました。野菜をいつも寄付してくれるエカ農園、開催日の前日に必ず電話をくださって、果物を届けてくれる近所のSさん、毎回最高品質の卵をくださるMさんなど、たくさんの方のお気持ちに感謝の気持ちで一杯です。主体的に関わってくれる当日のスタッフも8人になりました。虹の街と風の村の援助があつてのことですが、何とかこれからも継続的に、みんなの居場所のようなこども食堂があちらこちらにできるといいですね」とスタッフのSさん。

場所：流山市東深井 20-29

日時：毎月第1木曜 17：00～18：00

参加費：おとな 200円、子ども無料

問合わせ：04-7153-5500

「こども食堂基金」助成団体 2017. 3月決定分

	ブロック	こども食堂名称	種別	金額(円)	合否
1	柏	子ども食堂流山から風流	運営	50,000	満額
2		駒木台子ども食堂	運営	50,000	満額
3		あびこ子ども食堂	運営	50,000	満額
4		こども食堂「おかわり」	運営	50,000	満額
5		かしわこども食堂	運営	50,000	満額
6	千葉	カフェ・バルコニーの家	運営	50,000	満額
7		そうだんカフェ 空いろ食堂	運営	50,000	満額
8		とどろキッチン	運営	50,000	満額
9		稲毛こども食堂「といろ」	運営	50,000	満額
10		カレーおばさんの日	運営	50,000	満額
11	佐倉	夕焼けごはん	運営	46,000	満額
12		こども食堂・つき	運営	50,000	満額
13	松戸	みんなの食堂	運営	50,000	満額
14		JOY JOYランチ	運営	50,000	満額
15		こがねはら子ども食堂	運営	50,000	満額
16		小金ほのぼの食堂	運営	50,000	満額
17	市原	トイトイ食堂	運営	50,000	満額
18	ベイ	きなりこども食堂	運営	30,000	満額
19		凧堂舎 シニア&子ども食堂	運営	50,000	満額
			総額	926,000	



地域の縁側「オアシス」の夕焼けごはん

13:00からものづくりを楽しんだあと、15:30～17:00くらいで開催しています。みんなで作ってみんなで食べるがコンセプトです。どなたでも参加できます。お手伝いも随時募集しています。

場所：佐倉市江原台 2-28- 8

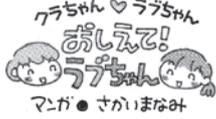
日時：毎月第3土曜日 11：00～15：00

参加費：中学生以上 300円、小学生以下無料

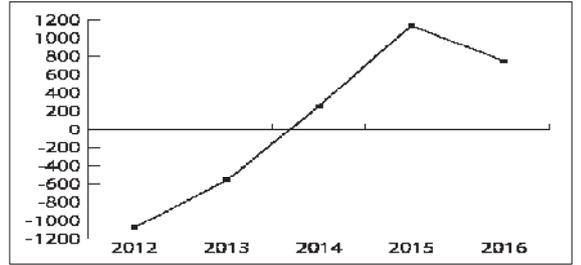
問合わせ：043-483-2808

2017年度の 仲間づくり

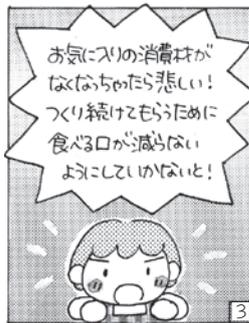
目標 (純増)
2864人



2016年度(4~3月)、751人の仲間が増えました!



年度	2012	2013	2014	2015	2016
総数	34,197	33,636	33,891	35,033	35,784
脱退(移動含)	3,631	3,225	2,886	2,935	2,969
加入	2,552	2,664	3,141	4,077	3,720
純増	-1,079	-561	255	1,142	751

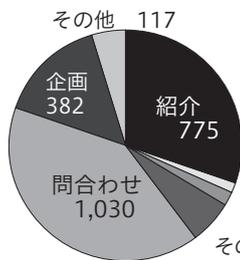


お友だちとお料理会や学習会を開いてみませんか。『コミュニケーションひろば』にステキな楽しい講座がいっぱいあります。(コルザ4月号2・3ページ参照)

生活クラブをどうやって知ったか (複数回答)

全体 (首都圏4単協)	%
友人・知人から聞いた	77.2
家族が組合員	12.3
何となく知っていた	10.0
試食をした	7.8
ポストに入ったチラシ	4.9
新聞折り込みチラシ	4.2

約80%の人が
口コミで!



- 加入したきっかけ
2016年度(4~2月末)
(センターのみ) 単位: 人
- キャラバン 29
 - 戸別訪問 54
 - その他行動 151



* 2016年くらしと共同購入についてのアンケート調査より

↓ WEB から紹介できます。



数量限定
8月31日
まで

生活クラブをちょっと自慢しながら、お友だちへ
おいしい! うれしい! **無料** プレゼント!

紹介したあなたへ
プレゼント!

お友だちが加入したら、
ご本人へプレゼント!



* どのセットも組合員でない方が対象です。初回限定、1家族1回限りとさせていただきます。

ミニ特集 こんにちは！赤ちゃん♪せっけんプレゼント



2002年から始まった、こんにちは！赤ちゃん♪せっけんプレゼントは、子育て層の応援と合成洗剤をやめてせっけんを利用し、環境問題を考えるきっかけにしてほしいと、出産した組合員とその赤ちゃんへせっけんをプレゼントしてお祝いしています。

出産を機に生活クラブへ加入される方が多いことから、2014年度からのプレゼントはせっけんビギナーでも使いやすいもの（固型せっけん・ジェルせっけんこはく等）を選んでいきます。また、プレゼントに同封されているアンケートに答えてくれた方へ「こどもハミガキ」をプレゼントしてせっけん利用を促進する取り組みをしています。

せっけんアンケートから

- ・食器洗いは市販のものを使っている人が多く、身体洗いはせっけんを使っている人が多い。
- ・洗濯には、「衣類は直接肌に触れるから」と、エスケーせっけんまたはせっけんの街の洗剤を使っている人が多い。

います。

肌への刺激が少なく、環境にも負荷をかけにくいせっけん。安価で便利だけれど健康への影響が心配な合成洗剤。一度ご家庭で使用しているものを見直してみませんか。

参考文献：生活クラブの生活提案9 『せっけん生活 はじめませんか？』

2016年度のおめでとう！

申請組合員数 146人
 赤ちゃんの人数 148人（双子：2組）
 男子の人数 72人
 女の子の人数 76人
 （2016年4月～2017年3月末）

市販では「自然にやさしい」「植物原料（または植物由来）」とうたった製品をよく目にします。一見、安全に思えますが・・・植物油を原料にした合成洗剤や、主成分はせっけんでも香料はほとんど化学物質です。

合成洗剤は手あれやおむつかぶれなどの原因になり、皮膚から体のなかに染みこんで健康への影響も心配されて

1歳未満の赤ちゃんがいる組合員の方、ぜひ「こんにちは！赤ちゃん♪せっけんプレゼント」にご応募＊ください！！

固型せっけんや台所用液体せっけんおれんじ、こどもハミガキは配達での注文やデポでも購入できます。

あなたも、せっけん生活はじめませんか？
 環境委員会

* 14ページに申請のあった赤ちゃんのお名前と生まれた月のお知らせ、15ページに申請書があります。

2017年度のプレゼントは・・・



ご応募いただいた方には以下のプレゼントをお届けします！

（対象は組合員の1歳未満お子さんです）

- ・固型せっけん 120g 1個
 赤ちゃんの頭から体まで全部洗えます！
- ・台所用液体せっけん「おれんじ」250ml 1袋
 油汚れに強いオレンジオイルを配合しました。
 ジェルせっけん「こはく」が原料です。
 爽やかなオレンジの香りをお楽しみください。
- ・絵本 生活クラブの生活提案9 1冊
 『せっけん生活 はじめませんか？』

せっけんと合成洗剤の違いやせっけんの使い方が載っていたり、

せっけんを初めて利用される方におすすめの絵本です。

- ・せっけんの使い方レシピカラーちらし A4版1枚



★同封のアンケートを提出された方には、「こどもハミガキ」をプレゼント！

お子さんが万一口み込んで安心な成分でつくられています。



お知らせ

第41回通常総代会 傍聴のご案内

来る6月22日(木)、第41回通常総代会の開催にあたり傍聴を受け付けます。

定員：30人

締切：6月1日(木)午後5:00

傍聴を希望される方は、各ブロック事務局までご連絡ください。

フードバンク食品寄付報告

格差・貧困問題の一方、多くの食品が廃棄されている現状を受け、活動が広がっているフードバンク。

虹の街では、組合員の皆さんに呼びかけ1月23日～2月5日、配達便とデポー店舗で食品等の回収を行いました。結果、388人から2,567品(重量1.2083トン)の寄付が集まり昨年夏に比べ、人数135.7%、品数150.6%(重量171.3%)と大きく上回りました。ありがとうございました。

フードバンクちばより「食品ストックが不足していた倉庫の棚が、みるみる生き返るようでした」と感謝の言葉をいただきました。

今年度は、9月と1月に回収活動を行う予定です。

エンディングサポート

2月10日、生活クラブ虹の街本部地域交流スペース^{なぎさ}渚にて、虹の街とワーカーズコレクティブ(W.Co)千葉県連合会で「エンディングサポート」



を共催。組合員や理事など23人が参加しました。

今回は、生活クラブの葬儀「風の旅」を伝えると共にW.Coの事業を紹介しました。

はじめに生活クラブFPの会の藤井智子さんからライフプラン講座の「ライフプランから考えるお葬式」についてのお話(写真①)。最近は一日葬や小規模な家族葬が増えているとのこと。その他、葬儀の打ち合わせのポイントや費用、お墓のことなど、元気な時に少しずつ学んでおくと、いざという時にあわてずに心残りのない葬儀を行えると感じました。

次に生活クラブ葬祭サービスの松谷典子さんより生活クラブが提案するお葬式「風の旅」のメニュー説明や生活クラブと提携している葬儀社の紹介があり、またエコ棺の部分展示(写真③)もありました。

続いてW.Co葬祭さぼーとちばの高野優美子さんから、事前の葬儀相談や葬儀社との打ち合わせの際に立ち会ってくれることなどの説明がありました。

冷静なアドバイスをしてもらえるのはとても心強いことです。

虹の街からは、エコロ制度について、日常生活保障・ケアサービスなどを説明しました。

また、W.Co千葉県連合会では、ワーカーズが行っている生活支援やその内容について、具体的例をあげた話がありました。

昼食交流会では、ワーカーズが消費材でつくった通夜振る舞

いや(写真②)お弁当などを試食しました。

どのように人生の最期を迎えるのか、近親者を送るのかということが多くの人の身近な問題であるなか、生活クラブ虹の街とW.Co千葉県連合会や葬祭さぼーと千葉などの連携した葬儀やそれに関するたすけあいの制度を知るよい機会となりました。

福祉委員 神谷洋子

バイオサポ学習会
きちんと和風だしセミナー

「バイオサポ」を軸に、和食と「だし」について学ぶバイオサポ学習会を、3月1日にセンター松戸、8日にデポー真砂地域交流スペース渚で、消費委員会が開催しました。各回40人を超す参加があり、健康な食べ方や和食・だしについての組合員の興味の高さがうかがえました。



講師は、生活クラブ連合会健康な食推進課の國井咲子さん(写真左)と猪狩裕子さん(右)。学習会は管理栄養士でもある國井さんの話から始まり、「ごま特有の成分セサミンはサプリメントで摂取するより消費材のごま油を食事に取り入れることで十分摂取できます」。

今、巷でよくみられる「トクホ」の食品やサプリメントに対する問題提起や、食の安全性では目に見えない微量栄養素と添加物は、体は区別できないので気を付けなければならないなど、栄養面のお話。そして、最近はやりの炭水化物抜きダイエットの問題点と、和食を中心とした献立が栄養バランスが取れている利点など、何に気を付けて食事をすればいいのかが、とてもよ

活動ファイル



手前から、煮干し、パックだし、かつお細けずり、みついし昆布のだしの飲み比べ。各テーブルでは、市販のインスタントだしの味見にもトライした

く理解できました。

だしワークショップでは、「手軽さが売りの市販のだしの裏面に書かれている表示をしっかりと見てください」と猪狩さん。市販品と生活クラブのだし類のシンプルさと味の違いを皆でしっかりと感ずることができました。

一口にだしと言っても、昆布、煮干し、かつお節、だしパック、和食顆粒だし、それぞれの味に大きな違いがあることに、参加者全員が驚き感動したようすでした。

「学んだことを、日々の食事作りに取り入れたい」「だしをとって、調理するようにしたい」などの感想が寄せられました。

消費委員長 中井孝子

『太陽の蓋』上映会

3月10日、千葉市生涯学習センターにて環境委員会主催の『太陽の蓋』上映会を行いました。会場の定員を大きく上回る参加申し込みがあり、急遽午後後の部も設け、申込まれた方には移動のお願いをし、午前53人、午後57人。なかには双葉町から避難されている方の参加もありました。

311東日本大震災による東京電力福島第一原発事故発生からの5日間。現地の状況を伝えない東電、無知な原子力安全委員会、事態を把握できない官邸、次第に拡大する原発被害。詳細が伝えられないまま、何度



もより遠くの避難場所へ移される人たち。決死の覚悟で手で原発のベント*をした作業員たち。国外へ退去していく外国人。どこに行けば普通に暮らせるの?と不安を抱え都内で生活を続ける母と子。あの時感じた不安、悲しみ、恐怖、焦り、怒り、そして危険な現場で使命感をもって働く人たちへの感謝と申し訳なさ、いろいろな感情がよみがえり胸が苦しくなりました。この事故で、原発のコントロールは不可能で、一度事故が起これば被害は甚大で取り返しがつかないことを誰もが実感したはずなのに、原発の本質的な問題は何も改めないまま、まだ原発再稼働の道をすすめている政府には憤りを感じます。

「まだ何も終わっていないんですよ。あの時、日本中でテレビ見てた人たち、今はどう思っているんですかね」原発で働く青年の言葉が心にさざります。

今私たちにできること、安心して暮らせる未来を子どもたちに残すべく、原発に頼らない再生可能エネルギー「生活クラブでんき」を使う仲間を増やしたい思いを強くしました。

環境委員 高橋浩江

*ベント：ベントには排出口という意味があり、原子炉格納容器のなかの圧力が高くなり、冷却用の注水ができなくなったり格納容器が破損したりするのを避けるため、放射性物質を含む気体の一部を外部に排出させて圧力を下げる緊急措置。

福島問題を考えるフォーラム

3月20日、千葉県教育会館にて、福島問題を考えるフォーラム2017が開催されました。主催は、フォーラム実行委員会*で午前『飯館村わたしの記録』『チェルノブイリ・28年目の子どもたち』の上映と同時に、別室で甲状腺検診を実施。午後は、甲状腺専門医で長野県松本市市長の菅谷昭さんの講演と6団体による福島の子もたちの現状や住宅支援・市民の甲状腺検診・関東圏のホットスポット・指定廃棄物の現状報告がありました。



甲状腺検診のようす

47人が受診し、要再検の該当者はなし。協力医師は、振津かつみさん(兵庫医科大学教員)、土谷良樹さん/上の写真左(東葛病院)

菅谷さんは、「1886年にチェルノブイリ事故が起き、91年に現地を訪れました。子どもたちに甲状腺癌が多発しているのを知り、95年に信州大学を退職して、96年から5年間ミンスク、ゴメリ、モーグリで現場の医療指導や手術を行いました。そして、2011年福島第一原発の事故が起こりました。2016年にはチェルノブイリ事故から30年が経過した節目の年として、7月にベラルーシを訪れました。チェルノブイリ事故による人の健康や生活環境等への影響は、事故後31年経過した今もなおお収束したとは言い難く、引き続き長期にわたる注意深い経過観察が不可欠であると思います。福島の事故は、わずか6年が経過したに過ぎません。チェルノブイリの汚染地の現状を教訓にして、残念ながら国の対応に期待が持てない以上、国民一人ひとりが放射能災害にもっと関心を強め、たとえ時間がかかろうとも、子どもたちの未来を守るためこの国難に立ち向かう時が到来しているのではないのでしょうか。チェルノブイリの現状は、福島の25年後の姿かもしれません」と今後の日本の状況を危惧しています。



*福島問題を考えるフォーラム実行委員会：甲状腺検診ちばの会/生活クラブ虹の街/ちば市民放射能測定室「しらべル」/放射能から子どもを守ろう関東ネット/千葉県放射性廃棄物を考える住民連絡会/放射能から子どもを守る会@やちよ/東葛病院 被ばく医療委員会/なのはな生協/パルシステム千葉

ブロック活動ファイル

* QRコードで各ブロックのFacebookへ！



柏ブロック

デポーおおたかの森への期待

2月24日、流山西初石の東洋ハウジング N-jyo koya にて、月1回開催しているブロック企画「思わず注文したくなるランチ会」を開催しました。参加人数は、スタッフ含め13人。とてもおしゃれな空間で和やかな雰囲気の中、新しくできるデポーおおたかの森の説明や地域集会を行いました。

メニューは、新しく活動サポーターになった方と考え、買い出しにも参加してもらいます。自分の使ったことのない消費材の使い方などの話をしながらの買い出しはとても楽しいです。

私は、流山で生まれ育ち、結婚後も住んでいます。生活クラブ発祥の地でもある流山にデポーができることを知り、とても嬉しい気持ちになると同時に、生活クラブの消費材の良さをもっと多くの人に知ってもらいたいと思いました。

東洋ハウジングさんとコラボで行う月に1度のマルシェ。名称を「にじいろマルシェ」と決定。これからどんなことをしていこうかと皆で考えるの



4月11日 地鎮祭

が楽しみです。

エイジレスなブロックを目標に「私たちのデポー」を皆でつくっていきたいと思います。 運営委員 佐藤明子

*デポーおおたかの森の建設のようすやイベントなどは、次号からコルザのミニ特集(6ページ)でお知らせ予定。柏ブロックのfacebookでは、タイムリーなお知らせを配信しています。



松戸ブロック

40周年 同窓会

3月16日、「あんなこと、こんなこと、あったよねーいろいろおしゃべりしませんか」のブロックの呼びかけに、23人がセンター松戸に集まりました。はじめの挨拶も聞こえないくらい、早々とおしゃべりが始まり、みんなの声が元気で!! 組合員歴40年の班は、流山から引っ越して来た人を中心にでき、(後に理事長となる池田徹さんが説明に来られたそうです)私はこの班に「卵とらない?」と誘われて入りました。毎月班会*をして、本部の

委員会へ行った人から、いろいろな情報が入ってきて、目からうろこの日々でした。せつけん委員だったわ、共済委員だった、豚肉の解体もあった、親鶏(卵を産んだ後の鶏)のおいしい食べ方の研究をしたわよ...思い出話しが尽きません。班長会、地区会・委員会と月に何度も会っていたんですね。同じ牛乳を飲んで、同じ卵・豚肉を食べて、醤油も味噌も...「同じ釜の飯」って言うけど、まさにそんなおつきあいですね。



新登場の冷凍のお弁当や惣菜、ピオサポセットを調理し、お昼を頂きました。「なかなかいいじゃない」「申し込んでおくと便利よね」食べている間も、もちろんおしゃべりは止まりません。

何年ぶりかで会って、つい抱き合ってしまった。嬉しかったね。同窓会の企画、本当にありがとうございました。 川野美津子



ベイブロック

デポカフェ再開です♪

お待たせしました。デポカフェ再開しました♪長くお休みしていましたが、2月からデポー浦安組合員室にて月1回のペースで行います。

2月は、ランチタイム。煎り大豆ごはん・冷凍ワンタンと野菜たっぷりスープ・青菜の万能つゆ煮・フルーツ。節分で食べきれなかった煎り大豆の利用法と、気になっていたけれど使ったことがなかった消費材などが試食できたと好評でした。しかも調理が簡単!

3月はカフェタイム。簡単グラスデ

ザート(たまごパンと水切りヨーグルトでティラミス&ヨーグルトアート)+添加物実験。添加物マジック?に驚いた後は、消費材で、おいしい手作りデザートタイムを楽しみました。

4月は、ピオサポランチ。デポー浦安は、7月にリニューアルオープンします。キャッチフレーズは「うららかに つどい やすらぐ デポー浦安」です。新規加入者フォローだけでなく、みんなで生活クラブのこと、デポーのこと、リニューアルのこ

となどいろいろ気軽に話せる場になるといいな♪と思っています。

みなさんとお話しできるのを楽しみにしています。

運営委員 大木由子



*班会: 当時は個配はなく班のみで、肉や野菜・卵はkg単位、牛乳も配達最低本数が決まっていたので、班のメンバーが集まって注文の調整などをした。

ブロック活動ファイル



千葉ブロック

3月7日、習志野市新習志野公民館にて、UCC上島珈琲(株)の生産者交流会を行いました。コーヒー好きの組合員からリクエストがあった企画で15人が参加。

始めにUCCの大矢康司さんがいれたコーヒーを味わいながら、市販品との違いを学びました。UCCのブレンドや製法へのこだわり、パッケージをシンプルにして中身のクオリティを大切にしていることなど、色・形など見た目では判断しづらいポイントがわか

UCC発♪おいしいコーヒー

りました。次にお待ちかねのいれ方講座。豆の構造を知ること、なぜ蒸らすことが大事なのか、一円玉の大きさでお湯を入れるのか・理屈を納得できました。これで、今まで自己流でコーヒーをいれていた人も自信を持てるはず! コーヒー豆の無数の空洞にゆっくりとお湯がしみ込んでいくことを想像しながらのコーヒータイムはますます楽しくなりそうです。

昨年、カフェインレスタイプのコーヒーも登場。こちらは「二酸化炭素抽



出法」(市販品は「水の浸透圧で抽出」が主流)で旨味を逃がさず、カフェインを97%カット。これからの暑い時期には、水出しアイスコーヒーもいいですね。UCC上島珈琲のこだわりコーヒーをたくさんの方におススメできそうです。 運営委員 岡崎今日子



佐倉ブロック

2月24日、デポー木刈での(株)ヴィボン生産者交流会は、ランチを食べながら12時にスタート。13人が参加しました。

消費材のオリーブオイルは、ギリシャ産で、収穫後のみずみずしいうちに化学的処理をしないで果実を搾って濾しただけのエキストラバージンオイル。パスタ、マリネ、揚げ物などいろいろな料理に使える高品質のオイルです。共同購入ならではの経済的な価格なのも嬉しいです。ヴィボンの中村彰

オリーブオイルを堪能!

子さんから、オリーブオイルのテイasting方法、本物が一滴しか入っていない市販のエクストラバージンオリーブオイルの秘密、産地によって香りも色も違うオリーブオイルの話をお聞きしました。

バルサミコは、伝統品と同じ原料・製法、ラベルの見方など、初めて耳にすることに「こだわり」を感じました。参加者から「これまでも愛用していたけれど、初めてお話を聞き、ますますファンになりました!」との声。



ランチのメニューは、サラダビュッフェ・鮭と枝豆のオリーブオイルおにぎり・バルサミコとオリーブオイルの白身魚のマリネ・オリーブオイルの人参ケーキと大変好評でした。 運営委員 小林友子



市原ブロック

3月の春休み、市原市の辰巳台にある集いの場カルポスとセンター市原にて、ブックシェルフ作り体験教室を開催しました。小学生のお子さんもママと一緒に木工にチャレンジです。

今回は員外さんも含め、10人が参加。2人1組で組み立て作業スタート。電動ドライバーを使ったり、クギを打ち込んだり…ワイワイ・ガヤガヤ・トントン…。「久しぶりのモノづくり楽しかったです!」「ドライバー欲しくなりました」など楽しめたようです。キッ

企画に参加してリフレッシュ!



ズ達も端材でトントン楽しそう!その

あとは、恒例の手作りランチタイム♪

私は、子どもが1歳の時に加入し、託児付き、ランチ付き、おしゃべりタイム付きの生活クラブの企画は、育児中の1番のリフレッシュタイムでした。コミュニティが増えて、リフレッシュできる企画がたくさん増えるといいな〜と思います。今後もクラフトをメインに月に1回開催していきたいと思っています。

コミュニティ/クラフト★ボックス
立野真樹子



生活クラブ千葉グループは、県内の生活クラブ関連9団体の
総合力で地域社会をより住みよく暮らしやすくするために社
会問題の解決とコミュニティの再生に寄与します。

生活クラブ風の村

「はぐくみの杜君津 赤ちゃんの家」が開設しました！

あなたの尊厳を守ります。

【事業本部】佐倉市王子台 1-28-8 ちばぎん白井ビル4階

tel : 043-309-5811 fax : 043-460-8844

<http://www.kazenomura.jp/>

e-mail: info@kazenomura.jp



2017年5月1日、はぐくみの杜君津の敷地内で、
7軒目の家として、乳児院「はぐくみの杜君津赤
ちゃんの家」がスタートしました。

2014年度の千葉県内児童相談所の統計結果によ
ると、虐待相談件数が5378件のうち0～2歳の相談
件数は1120件で、18歳以下の相談件数の約20パー
セントにあたります。特に0～2歳児においては虚
弱な生育状態にあり、被虐待体験による発達や生育上
の課題が顕著、もしくは重篤である場合が少なくあり
ません。また、福祉分野において乳児を保護できる機
関は乳児院のみのため、障がいを抱えた乳児や感染症
等なんらかの病気に罹患している可能性のある乳児を
保護することも多くなります。虐待環境から分離し生
命の危険から回避するため、児童相談所が親子分離を
決断し、その乳児がどのような状態にあるか不明なま
ま緊急保護を受ける場合もあります。

乳児院は0～2歳児を対象とした施設のため、2歳
時時点で里親委託や保護者の家庭引き取りとならず、
長期の施設入居が見込まれる場合は、児童養護施設に
措置変更されます。2歳までに過ごした施設やスタッ
フとの愛着関係を分断し、まったく見ず知らずの施設
へ措置変更することは、乳児への精神的ダメージが大
きく、是非が問われる課題です。

はぐくみの杜も開設当初は、0～2歳児の措置変更
の課題を考え、2歳未満児の入居受入れを検討してい
ました。しかし、新生児を含む命の継続を第一の目的
にしなくてはならない乳幼児期の心身の安全と健康を
守るためには、児童養護施設とは視点の違う専門性と
スキルの獲得と、入居する児童の被虐待体験によるト
ラウマ、PTSD（心的外傷後ストレス障害）の対応を
考えると、乳幼児の安全な養育環境を提供することの
課題は否めませんでした。

そのような状況のなか、県より乳児院開設の公募が
あり、児童養護施設の施設敷地内に建設することが可
能であるということもあって、はぐくみの杜7軒目の
家として、また、はぐくみの杜のいち家庭として運営
することができると考え、公募申請をすることにしま
した。

はぐくみの杜君津赤ちゃんの家では乳幼児15人を、
保育士、看護師、調理員などの専門職員が手を携えて
親に代わって養育します。里親さんとの連携を深める
ため、里親支援専門相談員も配置されます。私たちは
「HUG～抱きしめる、SMILE～笑顔、TEAM
WORK～大人の関係性」を合言葉に子どもの育ちを
護っていこうと強く思っています。

はぐくみの杜が開設して4年、君津小糸地区の暖
かな眼差しと、はぐくみの杜を支える会と支援者の
方々の子ども達への思いとスタッフ達への応援が屋台
骨でした。緊張感が渦巻く日々の赤ちゃん養育の営み
も、きっとみなさんの応援が勇気になっていくと思
います。

三つ子の魂百までと言います。3歳までの間に、たっ
ぷりと愛情を注ぐことが、人と交わって人生を生きて
いくための大切なエネルギーになります。かけがえの
ない、その日々を心いっぱい積み重ねていきたいと
思っています。

生活クラブ風の村はぐくみの杜君津 施設長 高橋克己

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

NPOクラブ

住民主体のまちづくりの事例を聞く講演会を開催します

市民のチカラをあつめる、つなぐ、広げる。

【住所】 千葉市美浜区真砂 5-21-12
tel : 043-303-1688 fax : 043-303-1689
http://npoclub.com/
e-mail: npo-club@par.odn.ne.jp



(認定 NPO) ちば市民活動・市民事業
サポートクラブ



地域通貨「まーぶ」が育む子どもたちの未来

－北芝地域（大阪府箕面市）住民主体のまちづくりの今－

地域通貨「まーぶ」ができた背景にあるのは、「子どもの貧困」問題です。「まーぶ」が生まれた北芝地域には、人権差別に由来する貧困が存在し、連鎖している現状があります。「まーぶ」のコンセプトは、①誰かのためになることをする ②自分の未来のためになることをする という2つ。子どももおとなも、誰もが住みやすい「暮らしづくり」の実践事例を共有しませんか。

日時：6月10日（土）15：00～17：00

場所：千葉市生涯学習センター大研修室
（千葉市中央区弁天 3-7-7・千葉駅徒歩 8 分）

講師：松村幸裕子さん
（NPO 法人暮らしづくりのネットワーク北芝 スタッフ）

参加費：500 円

定員：80 人（申し込み先着順）

申し込み：NPO クラブ tel : 043-303-1688

※当日 13：00～14：30 に認定 NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 第 17 回定期総会を開催。傍聴できますので、あわせてご参加ください。

☆地域通貨「まーぶ」

100 まーぶ＝100 円の価値があり、市内中央部のショッピングセンターも含め 100 店舗以上のお店で使えます。子どもたちは自分の力で「まーぶ」を稼ぎ、「まーぶ」を貯めて映画を観たり食事をしたり、買物を楽しむことができるなど、夢をかなえることができます。

VAIC-CCI

VAIC コミュニティケア研究所は「認定 NPO」を取得しました！

だれもが自分らしく安心して暮らせる地域に。

【事業本部】 千葉市稲毛区園生町 1107-7
tel : 043-290-8015 fax : 043-290-8016
http://www.vaic-cci.jp/
e-mail: info@vaic-cci.jp



(認定 NPO) VAIC コミュニティケア研究所

私たちは、暮らしやすい地域づくりのために、ボランティア・子育て・障がい者・地域交流の支援、生活支援など、さまざまな事業に取り組んでいます。私たちは、一人ひとりの暮らしを大切にしています。



★ 認定 NPO になるための条件

- ・ 広く一般からの支持を受けている
- ・ 事業活動において、共益的な活動の占める割合が 50% 未満である
- ・ 運営組織及び経理が適切である
- ・ 事業活動の内容が適正である
- ・ 情報公開を適切に行っている
- ・ 事業報告書等を所轄庁に提出している
- ・ 法令違反、不正の行為、公益に反する事実等がない
- ・ 設立の日から 1 年を超える期間が経過しているなどの一定の基準を満たし、
2017 年 3 月 13 日より 5 年間の設定で、
千葉市の認定を受けることができました。



★ メリットは寄付が集めやすくなること

認定を受けた法人だけではなく、寄付をしてくれた方に対しても 4 つの「税制優遇」が適用されます。

- ① 個人が寄付した場合、寄付金額に応じた控除が得られる。
- ② 企業が寄付した場合、寄付金額に応じた損金算入が認められる。
- ③ 個人が相続財産を寄付した場合、その寄付分が課税対象外になる。
- ④ 収益事業所得を非収益事業に充てた場合、損金算入が認められる。

【参考：千葉市 HP】

VAIC-CCI は、この税制メリットをアピールすることで、より多くの寄付を集め、財政基盤の強化、活動の一層の発展をめざしていきます。

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

UWN ちば

ユニバーサル就労ネットワークちば ホームページが完成しました！

誰もがはたらきやすい社会をめざして。



【住所】千葉市中央区中央 3-9-9 エレル千葉中央 304
tel : 043-306-2564 fax : 043-306-2574
http://www.facebook.com/uwnchiba
e-mail: info@uwnchiba.net

(NPO) ユニバーサル就労
ネットワークちば



新しい事務所を千葉市に設置してから2年が経過し、支援現場も当初は千葉市エリアだったものが、現在は松戸市、浦安市に広がり、4つの委託事業を実施しています。

日々支援現場での対応に追われ、着手が遅れてしまいましたが、2016年度に中央ろうきんの「若者応援ファンド2016」の助成をいただき、就労体験や就職活動の交通費の給付を行う「チャンス創造ファンド」の仕組みづくり、そしてホームページの構築を行い、先日、ホームページをオープンすることができました。

各拠点で行われている事業の紹介や中間的就労のご案内、また「チャンス創造ファンド」の寄付ページ、日々の支援現場のようすをお知らせするブログもありますので、ぜひ一度アクセスしていただければと思います。スマートフォンからの閲覧も可能ですので、お気軽にご覧ください。

2017年度はこれまでの委託事業を実施し、支援の質向上を図ることはもちろんのこと、私たちの活動を広く周知し、共感していただける協力者を募る活動も少しずつ始めていきたいと考えています。まだ企画中ではありますが、「働きづらさを抱える方々の就労支援のご紹介」や今社会問題化している「ひきこもりの高齢化」といったことから現場の状況を皆さんにお知らせする機会があればと思っています。「貧困」や「生活保護」といったワードがバッシングを受ける時代だからこそ、現場から見えてきた状況を率直にお伝えすることも私たちの使命だと考えています。

私たちが行っている支援は、なかなか「普通に暮らしている」方々の目に触れる機会がありません。今年度はホームページや直接お会いする機会を持ちながら、まずは知っていただくことから取り組みを始めていければと考えています。

はぐくみの杜を支える会

生活クラブ風の村はぐくみの杜君津から 初めての巣立ち

すべての子どもの笑顔のために。

【住所】君津市糠田 64 番地
tel & fax : 0439-32-2270
http://hagukuminomoriwosasaerukai.jimdo.com/
e-mail: hagukumi-sasaerukai@aroma.ocn.ne.jp (NPO) はぐくみの杜を支える会



2017年3月、高校を卒業した子が、専門学校に進学するため、これから始まる新生活に期待と不安を抱えながら新天地へ向け巣立っていきました。

巣立ちの現状

- 児童養護施設には、親と暮らせない子どもたちが全国で3万人暮らしています。子どもたちは、18歳（中退等した場合はその年齢）で高校を卒業すると同時に自力で生きていかなければなりません。
- 大学、専門学校等への進学率は一般家庭の子ども（75%）に比べ、児童養護施設の子どもたちは（20%）となっています。
- たとえ進学しても学費、生活費を工面する為に必死にアルバイト等をしなければならないことに加え、日頃寄り添う人や、何かあった時に頼れる人がいないという厳しい現実を前に、学ぶことを途中で諦めてしまうことも少なくありません。また、就業を選択した子どもたちも、働くことの大変さや一人暮らしの寂しさのなか、長く続けることが厳しい状況です。

はぐくみの杜を支える会の自立支援

支える会では、児童養護施設「生活クラブ風の村はぐくみの杜君津」と自立援助ホーム「生活クラブ風の村人カ舎君津」の子どもと若者たちへ自立支援を行っています。

経済的支援として、自動車の免許取得のための費用、一人暮らしのための費用、進学のための費用などの一部援助を行っています。そのほかに、精神的な自立に向けてできることを考えています。詳しく知りたい方は、ニュースレター（年4回発行）をぜひお読みください。

*ニュースレターは会員の方へお送りしていますが、ご希望の方にも送ります。会員になって、継続的な支援をすることもできます。お問い合わせは、はぐくみの杜を支える会まで。

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

せっけんの街

総会と講演会「100年後の水を守る」のご案内

生まれてくる新しい生命のために。

【本部】 柏市小青田 29-2
tel : 04-7134-0463 fax : 04-7134-7468
http://www.sekkennomachi.org
e-mail: info@sekkennomachi.org



(NPO) せっけんの街

特定非営利活動法人せっけんの街
第19回 通常総会

日時：5月27日(土)

11:00～12:30(10:30受付)
(5月15日までに出席をお知らせください)

場所：ミレニアムセンター佐倉 ホール
昼食を申し込まれる方は事務局 藪腰まで

18回日本水大賞市民活動賞
第5回印旛沼流域・再生大賞受賞記念講演会

100年後の水を守る

今、私たちがすること、できること、今、わたしたちが知らなければならないこと

日時：5月27日(土) 13:30～15:30(13:00受付)

場所：ミレニアムセンター佐倉 ホール
(京成佐倉駅改札直結)

講師：橋本淳司さん

(水ジャーナリスト、武蔵野大学非常勤講師)

資料代：300円

(資料の他台所用液体せっけん“おれんじ”差し上げます)

先日、手賀沼の源流の一つであるこんぶくろ池周辺を散策しました。工場群と隣り合わせの場所とは思えないほど静かで野鳥のさえずりが聞こえる場所です。水を含んだ落葉広葉

樹のふかふかの絨毯の上を歩き、湧き出る水の始まりを体験することができました。

講演者の橋本淳司さんは、ジャーナリストとして世界各地で水の状況取材し本にまとめ、小学校などの環境学習で講師を務めています。日本の飲み水はいつでも蛇口をひねれば飲むことができます。しかし、世界には想像もできないくらい劣悪な水環境の下で暮らし、健康を脅かされながら暮らす人々がいます。日本でも足尾鉍毒事件や水源地を外国の資本が買占めたというニュース、近頃では水道法の改正で公設水道が民営化されるかもしれないなど、水をめぐる話題はつきません。ぜひお誘いあわせの上、講演会にお出かけください。

W.C.O連合会

IYC から視察を受けて

ワーカーズ・コレクティブで暮らしをデザイン

【住所】 柏市十倉二 380-97

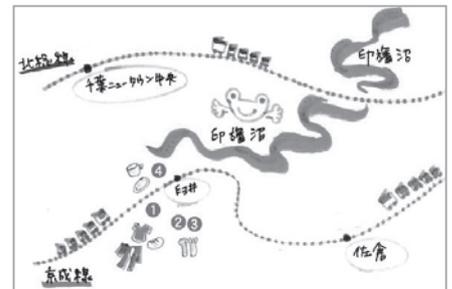
tel & fax : 04-7134-0072

http://www.ac.auone-net.jp/~r11/wco.html

e-mail: wcochiba@s2.dion.ne.jp



(NPO) ワーカーズコレクティブ
千葉県連合会



- ① (企) 回転木馬 ② (企) ハーブ ③ (企) 結
④ (NPO) 風車

3月中旬、佐倉市王子台周辺の複数のワーカーズ(回転木馬・ハーブ・風車・結)がIYC(国際協同組合年記念協同組合全国会議)から視察を受けました。視察団は総勢30人、農協やJC総研、労金などの協同組合陣営の他に社会的企業研究会所属の大学関係者、イーストロンドンから来日中であったアカウント3とWNJ(ワーカーズコレクティブネットワークジャパン)などで構成され、社会的企業と地域連帯経済の実践例として白羽の矢が立ちました。視察後、会場を風の村の本部に移して、ワーカーズと千葉グループとの連携も紹介し報告をしています。

回転木馬は、意思ある組合員(環境委員会)が活動の次のステージを地域に置いて、リサイクルショップを立

ち上げ、せっけん運動や市民ネットにも繋げながら事業を継続し30年にわたり生活クラブ運動を実践してきました。

ハーブも、職員の給食づくりから始まり、職員の強い後押しを受けて立ち上がった老舗の惣菜ワーカーズです。

歩いて行ける距離に複数のワーカーズが点在し、お互いに影響を与えながら人と仕事の循環をつくり事業を継続し、街づくりに繋いできた圧倒的な迫力が佐倉にはあります。まさに協同の力そのものです。参加者からも驚きをもって、称賛を受けました。

改めて、ワーカーズの役割を考えていく良い機会となりました。

イベント・情報

「福島現状と放射能」講演会
福島の事故から6年子どもたちの今
～これからのエネルギーについて考える～

福島現状を、生活クラブふくしま理事長の
大津山ひろみさん。放射能検査の状況と放射
能による健康・環境への影響について、生活
クラブ連合会品質管理部部長 植田博さんのお
話を聞き、エネルギーについて考えます。

5月24日(水) 10:00～12:30
会場：船橋市勤労市民センター ホール
参加申込締切：5月12日(金)

担当：組織部 茂野
043-278-7172
←QRコードからも申込みます。



ブロック企画

(株)平田牧場豚肉学習会

5月16日(火) 10:00～13:00
茂原市中央公民館

託児あり 定員10人 参加費300円
担当：塚本 0436-60-1583

楽々ダイエットサポート

5月19日(金) 10:30～12:30
センター松戸

託児あり 定員12人 参加費600円
担当：鈴木 047-385-4646

『不思議なクニの憲法
～リニューアル版～』上映会

5月26日(金) 13:30～16:20

デポーみつわ台 2F 地域交流ルーム
定員15人 参加費600円
担当：清松 043-278-7629

子育てサロン

5月26日(金) 10:30～13:00
センター松戸

定員8組 参加費300円
担当：鈴木 047-385-4646

ビギナースカフェ&
ビオサポマイスター講座(餃子の食べ比べ)

5月31日(水) 10:00～12:30
真砂コミュニティセンター 2F 料理実習室

託児あり 定員15人 参加費500円
担当：清松 043-278-7629

正絹糸で小物作り

5月31日(水) 10:00～12:00
デポー大津ヶ丘 地域交流スペースひだまり

定員3人(先着) 参加費300円
担当：児玉 04-7134-3801

募集：信州飯綱高原でジュース用トマトの収穫

トマトジュースの原料(加工用トマト)の生産を、
組合員が手伝っていることをご存知ですか？



日程：8月16日(水)～18日(金) (2泊3日)

参加条件：経験・性別不問。

組合員及びその家族で18歳以上
(1999年3月以前の生まれ)

*生産者の指示に従い日程期間中作業を行う体力
があり、最低限の団体行動がとれること。

作業時間：3日間合計で 実働12時間(途中休憩あり)

1日目/午後のみ、2日目/午前と午後、3日目/午前のみ

(長靴・合羽持参。多少の雨でも作業します。激しい雨天の場合は中止
もありその場合の報酬はありません)

参加報酬：日給4,000円(このうち生産農家負担2,500円)

自宅から集合先までの往復交通費は一律1,400円支給

集合先から現地まで(高速バス使用)の往復交通費と宿泊料は自己負担なし

集合解散：新宿駅西口 7:00頃集合、19:30頃解散の予定

募集人数：虹の街(生活クラブ千葉)より10人(応募者多数の場合は抽選)

計画的労働参加は対価のある「労働」で、必要人数を確保する必要があります。
抽選に外れた方はキャンセル待ちとさせていただきます。

申込締切：5月31日(水) 厳守 申込書は15ページ



6月中旬に結果をお知らせし、
参加決定者には詳細を連絡します。

問い合わせ：事業部 柴山
tel: 043-278-7693



♪ こんにちわ!赤ちゃん♪
せっけんプレゼント

せっけんを使うことで環境問題を考える
きっかけにしてほしいと、お母さんと赤
ちゃんに、生活クラブのせっけんを贈ります。

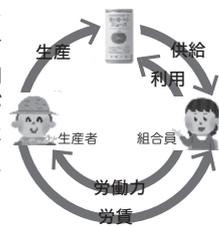
お誕生おめでとう!

赤池湊(みなと)くん	2016.12
大村美結(みゆ)ちゃん	2016.06
石附采桜(あやさ)ちゃん	2016.04



計画的労働参画って?

原材料に国産トマトを使った生活クラブの「信州トマトジュース」。国産加工用トマトの生産が減るなか、生活クラブは国産トマトの生産を支えるために組合員がトマトの定植や収穫作業を引き受ける「計画的労働参画」の取り組みを1995年から行っています。加工用トマトの主産地のひとつ、長野県飯綱町で、春の定植と夏の収穫期に実施します。「援農」とは異なり、参加者はきちんと対価を受け取り、「生産者」としての役割を直接担うことが大きな特徴です。昨年夏の収穫作業も8月中旬～下旬に、のべ120人近くの組合員が参加しました。この取り組みによって形成された人の繋がり、生産の原動力となっています。



クラちゃんラブちゃん&申込書



コルザ 5 月号

申込書・申請書・コルザアンケート

配達時または、デポーフロアに提出して下さい。

組合員氏名		組合員番号		申込 締切
1	信州飯綱高原でトマトの収穫 <small>計画的労働参画</small>	参加希望者 お名前 (組合員との続柄)		5/31
		参加希望者 お名前 (組合員との続柄)		
こんにちは！赤ちゃん♪せっけんプレゼント 申請 (太枠の組合員氏名と番号を記入してください)				1 歳の 誕生日 の前日 までに 申請
赤ちゃんの なまえ	ふりがな	赤ちゃんの生年月	20 年 月 生まれ	
『コルザ』に掲載してもよろしいですか。(はい・いいえ)				
コルザアンケート コルザ作成の参考に させていただきます。	コルザ__月号を読んで ①よかった・おもしろかった記事 タイトル「 _____ 」__ページ ②その理由など ③その他 ご意見・ご希望など			

*せっけんプレゼント希望の方は、申請書に必要事項を記入して提出してください。
対象は組合員のお子さんと、1歳未満の赤ちゃん。1歳の誕生日の前日までに申請してください。

*いただいた個人情報は適切に管理し、目的以外には使用しません。 事務局記入欄 センター/デポー ()、配達コース () - ()
*企画参加希望で詳細を知りたい方は、担当までご連絡ください。

5月のデポ-



イベント案内

デポ-のお休み：6月は11日(日)

デポ-浦安、7月
リニューアルオープン!

日	月	火	水	木	金	土
5/7	8 せっけんの街の日 →大津ヶ丘、園生は9 *せっけんの街のせっけんなど5% off	9	10	11 黒豚の日	12 デポ-まつり 母の日フェア(～14)	13
3 Week 3 meat キャンペーン①(～14)						
14	15 ●●●●●●●●●●	16 ●●●●●●●●●● ピオサポ	17	18 ●●●●●●●●●● 新茶まつりウィーク(～21)	19 ●●●●●●●●●● かつおの日	20 ●●●●●●●●●● ほうぎね牛入荷
3 Week 3 meat キャンペーン②(～21)						
21 冷凍品お買い得 2パック以上で 5% off	22	23	24 朝採り野菜の日	25 平牧金華豚の日	26 初夏スタミナ&涼味麺フェア	27
3 Week 3 meat キャンペーン③(～28)						
28 日曜日	29	30	31	●●●●●●●●●● ハイム化粧品ウィーク(～6/4)		

日曜日(5/28)

- ジュース類は特別箱値引き
通常の箱値引きよりさらにお得
- 日曜青果市で季節の野菜果物もお得!
- レシピ提案：鶏むね肉チャーシュー丸大豆醤油

5% off



生マグロ解体：5/13 新松戸 5/20 浦安
5/27 真砂・大津ヶ丘

5/12・13

デポ-まつり・・・2日間 ポイント2倍!

人気消費材の生産者に直接会えるおまつり。県内の野菜生産者も登場。
13日は、ワーコレのお惣菜も入荷。試食もいろいろ!
初めての方にデポ-を紹介するチャンス! お友だちと一緒にどうぞ。

3 Week 3 meat キャンペーン(5/8～28) 昨年大好評企画
週替わりで食肉のおすすめ品がお得に!

- ① 5/8～14 は牛肉のおすすめ品 5% off 10% off
- ② 5/15～21 は豚肉・③ 6/22～28 は鶏肉のおすすめ品

ビジョンフード食肉の日(5/8～27)
5月のテーマは牛肉・豚肉・鶏肉。3week3meat キャンペーン
の日程に合わせ、週替わりで週1回その特徴やおいしい食べ
方などを試食と共にご紹介。*デポ-によって開催日が異なります。

母の日フェア(5/12～14) 5/14は母の日。
母の日のお祝いはお刺身で!
冷凍まぐろ、酒類 5% off
キャンペーンで牛肉のおすすめ品もお得。デポ-まつりと同時開催

新茶まつりウィーク(5/15～21) 新茶の季節!
「わたらい特選一番茶上煎茶80g」や一口羊羹などがお得。
お茶と羊羹で初夏を味わいましょう♪

ピオサポ週間(5/15～20) 毎月1回開催
生活クラブの消費材を使ったおすすめレシピを紹介。
試食の日はデポ-によって異なります。
5/15...みつわ台 5/16...真砂 浦安 大津ヶ丘
5/17...木刈 園生 5/18...新松戸 5/19...松葉町

かつおの日(5/19.20)
今が旬の初鯨がメインの日。試食もどうぞ!
*天候などにより、入荷のない場合もあります。

初夏スタミナ&涼味麺フェア(5/26.27) 夏に向けてスタミナ作り
うなぎ蒲焼(120g・80g) や手延べそうめん 5% off
戸隠そば、そばつゆ、万能つゆなど

ハイム化粧品ウィーク(5/29～6/4) 美容講習会も開催予定
おなじみハイム化粧品のキャンペーン。 10% off
期間中おすすめ5品目

デポ-	5/12	5/13
真砂	青い海：真塩、素精糖 エスケ-石鯨：せっけん類 元気クラブ：農法の会	タイハイ：丸大豆醤油他 井筒屋：ひやむぎ、うどん ワーコレ惣菜：ボナペティ
浦安	奥和：沼津の干物 元気クラブ*AICの野菜も入荷 JAちばみどり旭サンフレッ シュ部会	ヴィボン：オリーブオイル 秋川牧園：鶏肉 ワーコレ惣菜：グラッセ
みつわ台	秋川牧園：鶏肉 日東富士製粉：ホットケーキ ミックス	韓国食品：キムチ 元気クラブ：AIC ワーコレ惣菜：回転木馬
新松戸	ベストアメニティ：もち麦 コーミ：チューブ入りマヨネーズ 元気クラブ：AIC	ぐるめ食品：スモークサーモン 新橋製紙：ロールペーパー ワーコレ惣菜：紙ふうせん
大津ヶ丘	私市醸造：食酢他 新橋製紙：ロールペーパー	小野田製油所：ごま油 コーミ：チューブ入りマヨネーズ 元気クラブ：村悟空 ワーコレ惣菜：あい惣菜
松葉町	オルタフーズ：中華まんじゅう おびなた：戸隠そば	藤原食品：中国春雨他 平田牧場：豚肉 元気クラブ：立野園芸 ワーコレ惣菜：菜の花
木刈	元気クラブ：さんぶ野菜 ネットワーク	エスケ-石鯨：せっけん類 ワーコレ惣菜：ハーブ
園生	タイハイ：丸大豆醤油他 新生酪農：牛乳、乳製品 元気クラブ：JAちばみどり 海上野菜組合産直部	美勢商事：冷凍餃子 栃木県開拓農協：牛肉オーダー カット ワーコレ惣菜：さくらいろ

ポイント デポ-カードの提示でポイントがつかます。500ポイントで500円
のクーポン券発行。デポ-カードは、班・個別配達の方もつくれます。

* 2017年4月14日作成 イベントや入荷予定、試食の内容などは変更になることもあります。